

学生たちが学ぶ 2つのキャンパス

専修大学は学部によりキャンパスが分かれています。都心に位置する神田キャンパス、郊外にある生田キャンパス、それぞれのキャンパスの特色を紹介します。

神田キャンパス

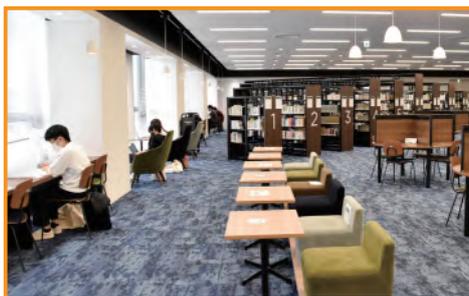
大学創立5年後の1885年よりこの地に校舎を構え、街と共に発展してきた神田キャンパスでは、法学部、商学部、国際コミュニケーション学部の学生が学んでいます。近くには世界一の規模を誇る書店街が広がり、文化的な刺激に溢れています。



←10号館



↑10号館の各フロアには学生が勉強できるスペースがある



↑10号館13・14階 Knowledge Base (図書館靖国通り分館)は落ち着いた読書や勉強ができる空間



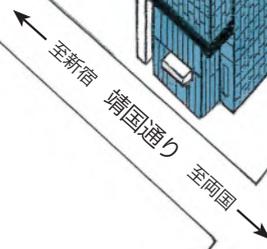
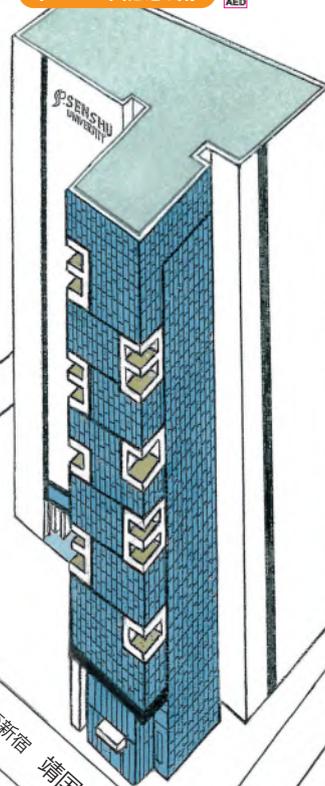
←10号館7階学生ラウンジ(学食)。昼休みには学生たちで賑わう

↓10号館の教室



←10号館1階。休み時間はエスカレータ、エレベーターで学生が移動

10号館
(140年記念館)





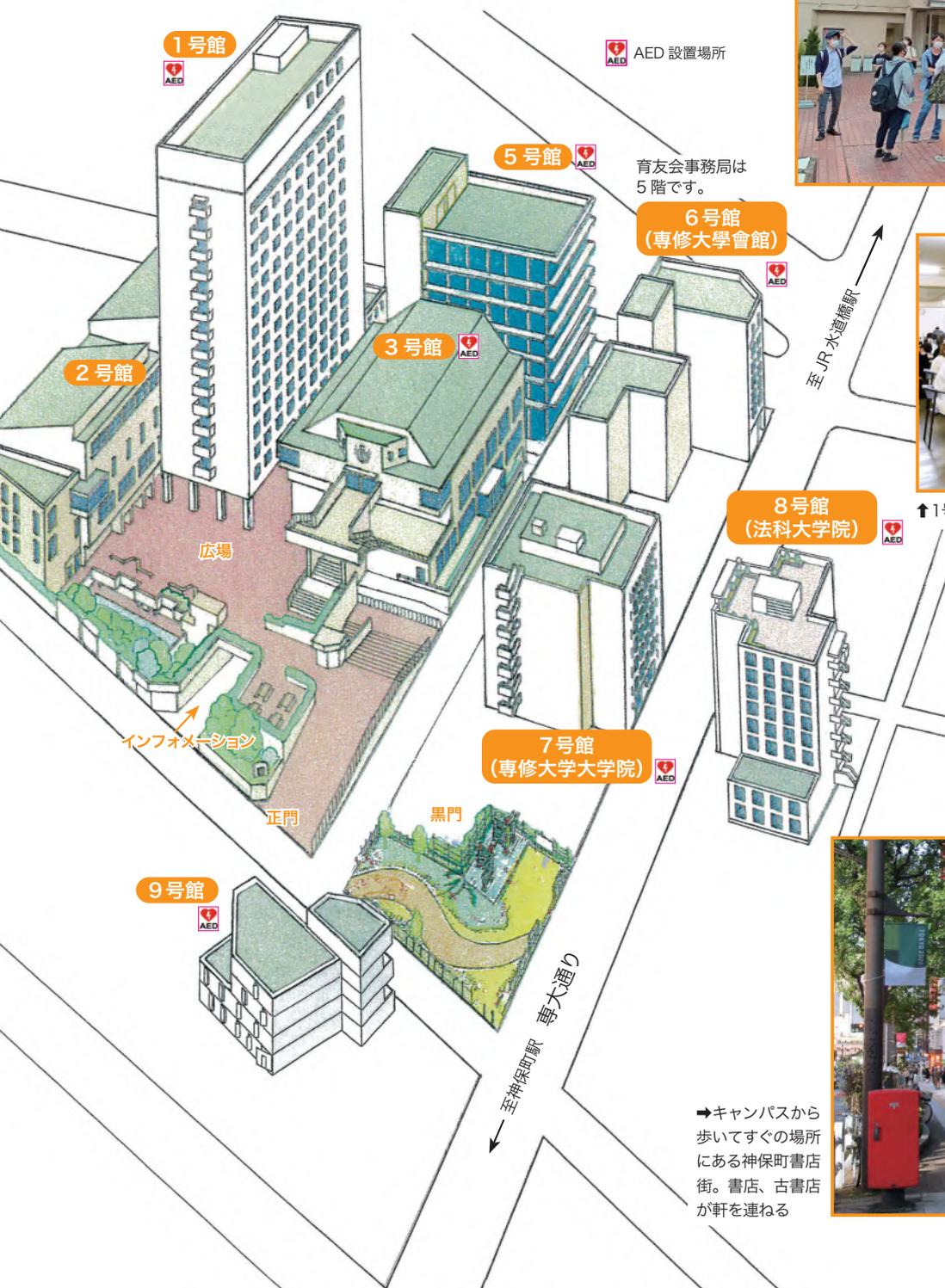
↑正門に入って正面に見えるのは校章輝く3号館



↑1号館地下1階学生ホールは学生たちの憩いのスペース



↑1号館前広場



↑1号館地下2階のスペース、学生がランチや勉強に利用



↑3号館地下1階の学食ラ・ポルト・ノールは、ワンコインで食べられるランチが人気



→キャンパスから歩いてすぐの場所にある神保町書店街。書店、古書店が軒を連ねる

生田キャンパス

1949年、緑豊かな生田の地に誕生したキャンパス。広大な敷地を活かして作られた図書館やグラウンド、体育館などの施設は開放的で、のびのびと学習できます。経済学部、経営学部、文学部、ネットワーク情報学部、人間科学部の学生が学んでいます。



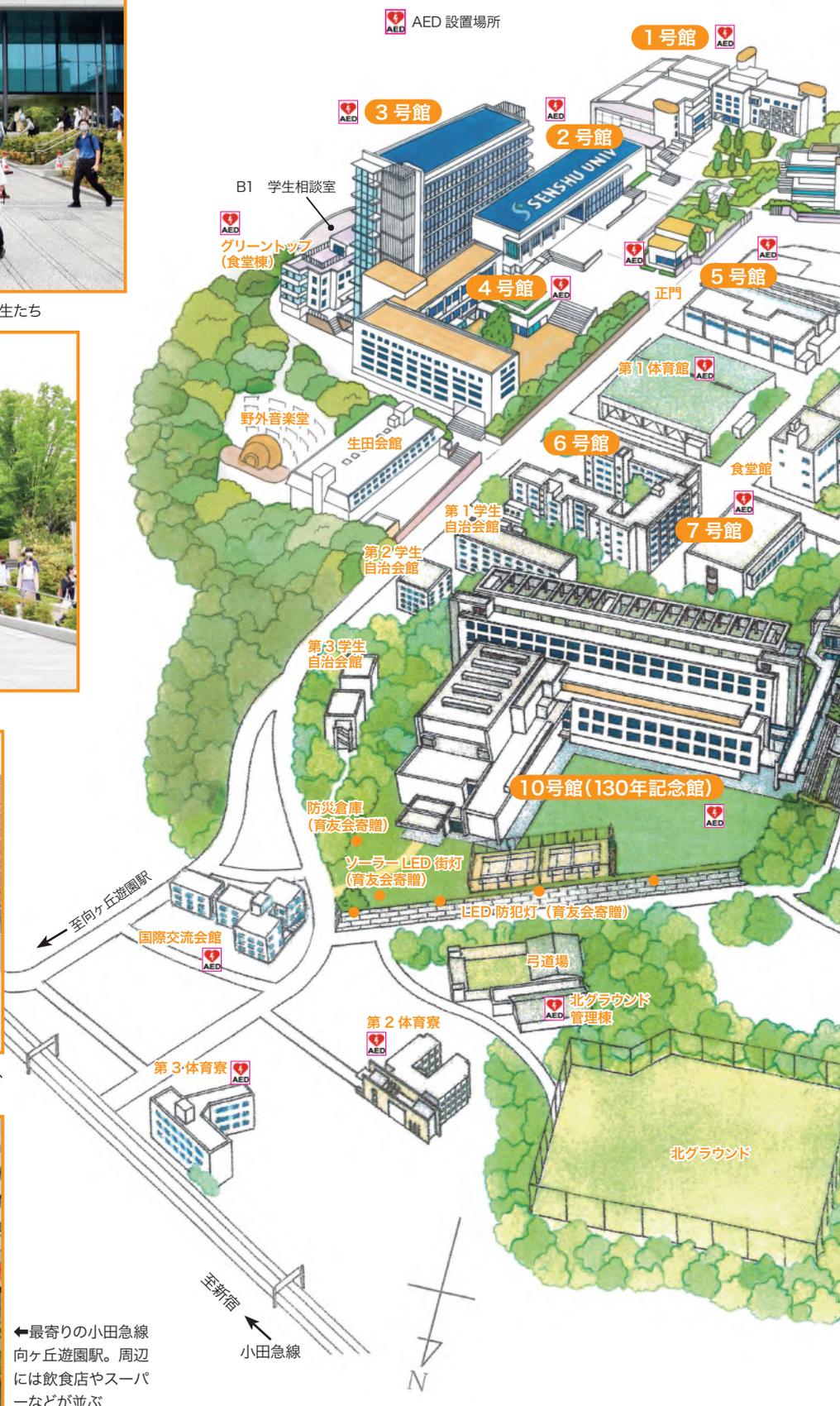
↑正門の正面には2、3号館。休みに教室を移動する学生たち



↑2号館前の中庭には樹々が生い茂る



↑4号館には教室のほか、キャリア形成支援課、学生生活課、教務課などある



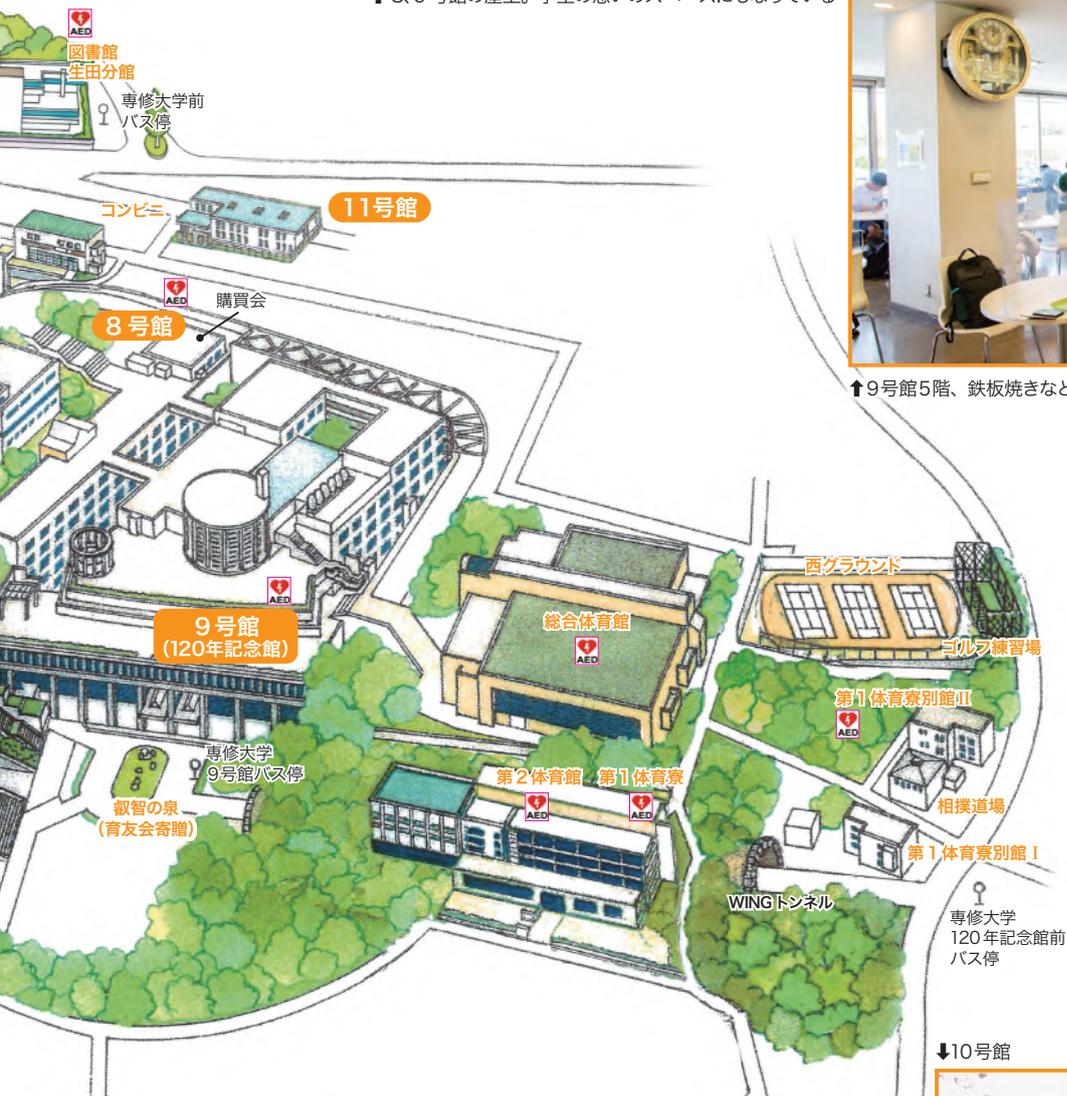
←最寄りの小田急線
向ヶ丘遊園駅。周辺
には飲食店やスーパ
ーなどが並ぶ



↑ 8、9号館の屋上。学生の憩いのスペースにもなっている



↑9号館5階アトリウム。天窓から陽光が降り注ぎ、まるで外にいるような開放感



↓10号館1階アカデミーモール。このエスカレーターは坂の上の校舎への移動にも利用される



↑9号館5階、鉄板焼きなどのメニューが人気の学食



↑総合体育館のプール



↑10号館4階の食堂。昼休みは学生たちで賑わう

↓10号館

